

人工膝関節置換術を受けられるID: 様へ

バスコード:09008 世代:3

発行日:1900/01/00

項目	月日	入院	手術前日(手術前)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2・3日目	手術後4日目	手術後7日目～	手術後14日目～	退院日 月 日
達成目標		手術まで体調のコントロールができる。 	手術前後の流れについて理解できる。 必要物品が準備できる。	手術・麻酔に対する不安を最小限に過ごす。 床ずれが起きない、合併症が起こらない。	痛みが増強なく過ごすことができる。 ベッドサイドで立位を保持することができる。 合併症が起こらない。	痛みが増強なく過ごすことができる。 車椅子移乗・歩行器歩行の方法がわかり、見守りのもと行う事が出来る。 合併症が起こらない。	痛みが増強なく過ごすことができる。 車椅子移乗・歩行器歩行・杖歩行の方法がわかり、見守りのもと行う事が出来る。 合併症が起こらない。	痛みが増強なく過ごすことができる。 車椅子移乗・歩行器歩行・杖歩行の方法がわかり、見守りのもと行う事が出来る。 シャワー浴の方法がわかる。 合併症が起こらない。	痛みが増強なく過ごすことができる。 歩行器歩行、1本杖歩行をすることができる。 見守りのもと安全に入浴を行う事が出来る。 浴槽への出入りの方法がわかる。 階段昇降ができる。	退院できる。	
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ		持参薬の確認をさせていただきます。 	午前中の手術であれば、前々日に下剤内服。前日に洗腸を行います。 午後の手術であれば、手術前日に下剤内服をして頂きます。 手術翌日に内服するお薬を準備します。	午後の手術であれば、午前中に洗腸を行います。 指示された薬だけを少量の水で飲んで下さい。	食事がとれないため点滴を続けます。 抗生剤の点滴を行います。 	朝、看護師がお薬を持てきます。 痛み止めの内服薬がはじまります。 抗生剤の点滴を行います。	機械で膝の曲げ伸ばしの練習を開始します。 午後手術の方は抗生剤の点滴を行います。		ガーゼ交換(適宜・必要時)を行います。		
検査				手術後、採血を行います。 	採血があります。 	適宜採血があります。 	採血があります。 	適宜採血があります。 レントゲン撮影が適宜あります。 	適宜採血があります。 レントゲン撮影が適宜あります。 		
安静度		痛みが強くない程度に移動して下さい。 痛い場合は歩行器などあります。		ベッド上安静です。 リハビリが開始されます。 	ベッドに腰をかけたリハビリに出来るようになります。 歩行器で歩く事ができます。						
食事		内科的な病気のある方は医師の指示に従って治療食です。開食は控えて下さい。 	当日朝から絶食です。 水分は主治医の指示に従ってください。	水分は膝の動きを確認してから始めます。	朝から食事が始まります。						
清潔		入浴して下さい。 入院までに爪切りをしてきて下さい。	入浴して下さい。		体拭き・洗髪を適宜させて頂きます。 洗面は朝・夕にタオルとうがい水をお渡します。 			医師による傷の確認後、シャワー浴が開始されます。 看護師の介助のもとでシャワー浴をしていただきます お風呂の動作に慣れるまでは介助させていただきます 			
排泄				手術中に尿の管が入ります。排便は便器でとりずす。 尿の管を抜きます。 抜いた後は車椅子又は歩行器でトイレに行けます。 	便秘になりやすいため、水分をしっかりととりましょう。						
患者様及びご家族への説明		オムツ1枚とビニール袋2枚をお持ち下さい。 手術についてわからないことがあれば何でも聞いて下さい。	手術予定時間の30分もしくは60分前に家族の方は来場して下さい。	傷の痛みが出ることがあります。 痛みがあれば、我慢せずに申し出て下さい。	退院に向けての準備を相談します。 必要に応じて、介護サービスの利用など相談します。	洗面は自己で行います。 退院後の生活環境を相談します。 必要に応じて在宅サービスの利用など相談します。	退院に向けての準備を相談します。 必要に応じて在宅サービスの利用など相談します。	退院後の生活環境を相談します。 必要に応じて在宅サービスの利用など相談します。	退院に向けて不安はありませんか？何でも構いませんので、質問して下さい。		

この予定表は、病状にあわせて、その都度変更する場合がありますので、ご了承下さい。

医療センター クリニカルバス委員会 2021/4/17承認

主治医